

卒業おめでとう！

3月24日木曜日、第116回卒業式を挙ります。本年度の卒業生は、男子4名、女子6名の合計10名です。みんな素敵な個性を持っており、お互いの存在を大切にしながら、共に成長の道を歩み続けてきました。特に最上級生となった今年は10名で一致団結し、先頭を立てて学校をリードしたり、裏方となってサポートしたりするなど、頼もしさを多く発揮してくれました。下級生に対しても、親切かつ丁寧に接してくれ、全校を思いやりの満ちた雰囲気してくれました。10名はおそらく、今まで自分がしてもらったことをそのまま後輩たちに返そうとしていたのだと思います。まさしく、これまでの卒業生たちが受け継いできた「伝統」の賜物だと感じます。

さて、今年度最終号は、間もなく、立派に小学校を巣立とうとする、この輝かしい10名をご披露いたします。

- 1 小学校生活で一番印象に残っているシーン
- 2 小学校で好きだったこと・ものベスト3
- 3 中学校でチャレンジしたいこと
- 4 将来やってみしたいこと
- 5 この先、目指したい人間像

今号は個人情報になりますので、取扱には十分ご留意ください。



- 1 運動会で、声がかかるまで応援をしたこと
- 2 ①うんていの上から見る太陽や自然
②先生たちとたくさん話した杉の子広場のベンチとテーブル
③暇をつぶしてくれるブランコ
- 3 発表をたくさんできるようにする
- 4 声優で、アニメの担当をしてみたい
- 5 いろいろな人に、ピシッとバシッとすぐに教えられる優しい人



- 1 修学旅行で泊まったホテルや青島で見た「見渡す限りの水平線」
- 2 ①昼休みにみんなと過ごしたこと
②修学旅行で深めた学びや絆
③図書委員会（カウンター等）活動
- 3 部活は初めての卓球に挑戦する、そして、文武両道を目指したい
- 4 ウェディングプランナーとして女性を輝かせ、溢れる笑顔を引き出す
- 5 人のために行動し、夢や目標に向かって真っ直ぐに突き進む人
笑顔が絶やさない人



- 1 2年の学習発表会「かさこじろう」で演じたおじいさん役のカツラ姿で大爆笑をさらったこと
- 2 ①団長を務めた最後の運動会
②2本の縄で跳んだなわとび学習
③昼休みのサッカー遊び（PK）
- 3 本をたくさん読む、野球部に入り、男子に負けないようがんばる
- 4 体育の先生になりたい
- 5 困っている人はもちろん、誰にでも優しく声かけや対応ができる人



- 1 入学式で大きな声で返事したこと
クラスメイトとの何気ない日々
- 2 ①教室の窓から見える夏の空
②椎小ならではの運動会の応援
③修学旅行でバスから観た街並みと夕日
- 3 難問を解くことや先輩方への気遣い
- 4 スポーツ医学者になって、世界で活躍するアスリートを助ける
- 5 できないことをあきらめず最後まで成し遂げる人



- 1 田植えで、田んぼの中に入った時
- 2 ①遠足での遊びやお弁当
②ブランコに乗ること
③図工で何かを工作すること
- 3 部活（卓球のスマッシュを決めてみたい）
- 4 美容関係の仕事
- 5 誰にでも同じ接し方（偏らない）で安定している人（優しく、面白くて、支えてくれて…人間的に整っている人）



- 1 4年生のころ、子ども大八郎になったこと
- 2 ①修学旅行
②遠足
③体育（なわとび学習）
- 3 野球部に入ること
- 4 野球選手になること
- 5 人の役に立つこと。人の悩みを聞いてあげること。



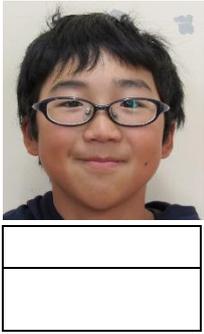
- 1 多くの方が、自分から、朝、外に飛び出して、縄跳びをしていたシーン
- 2 ①昼休みに友達と爆笑する時間
②雨の日、体育館でのドッジボール
③朝の縄跳びの時間
- 3 テストで上位に入ること
- 4 フォトグラファーになって、椎葉を有名にしたい
- 5 誰にでも優しく、笑顔が絶えない人



- 1 自分の入学式の時、2～6年生の態度を見て、驚いた
- 2 ①昼休みに皆でサッカーをしたこと
②修学旅行で各地を見て回ったこと
③全校リレーに出場したこと
- 3 部活動に一生懸命取り組みたい
- 4 日本各地で魚釣りをしたい
- 5 ふるさと椎葉を大切にしていける人



1	小学校最後の運動会の閉会式で、児童代表あいさつを務める僕をたくさんの人が見つけていたこと
2	①昼休みにやったサッカーの試合 ②修学旅行で行った科学技術館 ③理科の実験
3	教えてもらったことを生かして、部活動の練習に励みたい
4	地元の食材を使った飲食店を営みたい
5	どんな人にも優しく接する人



1	運動会で優勝したこと、団長を務めたこと
2	①運動会 ②昼休み ③体育館
3	内容が難しくなったり、進度が速くなったりするけれど、授業にしっかりついていきたい
4	バスケットボール選手
5	みんなに慕われ、頼られる存在になりたい

受け持ちの先生

25年前、教職5年目で松尾小学校に上番してきたひよっこ教師の私は、椎葉の子ども達と接して（この子たちは、天使か!？）と正直思いました。前任校では、教師や大人への反発はごく自然であるという環境で育った子ども達と、体当たりの日々を過ごしていましたから、尚更そう感じたのだと思います。先輩方から「理想の教育ができるよ。」と言われて送り出されましたが、まさに（その通り!）と実感できる3年間を過ごさせてもらいました。

さて、卒業生の受け持ちは、本校1年目いゆゆる今年度上番してきた職員2名でした。「子ども達、素晴らしいです!」と折々に口を開いていましたが、（そうじゃろ!）と、心の中で25年前を懐かしみつつ、微笑んでいた私です。

こんなキラキラと輝きを放つ子ども達が、「ますます磨きをかけて、素敵な人生を歩んでいってほしい!」と願うのは、教師の性分。二人は、いろんな現場を渡り歩き、いろんな子ども達を育ててきた目と感性で、杉の子を「さらに」「より」「もっと」伸ばしていきたいと意気込み、がんばってくれました。



信条	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の困っていることや不安をすぐに解消できる教師 できなかったことができるようになるよう、子ども達とアイデアを出し合い、ともに乗り越えようとする教師
子ども達への願い	やればできる。自分の可能性にかけて、どんな場面に遭遇しても、何とか耐え、生き抜く力を持ち続けてほしい。



信条	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達との出会いを大切に 教職に関することに限らず、学ぶ機会を大切に
子ども達への願い	<ul style="list-style-type: none"> 支えてくれる人たちの存在、感謝の気持ちを忘れないでほしい。 広い視野をもち、いろいろなことに挑戦、経験をしてほしい。

愛おしい学校 そして 子ども達

有り難いことに、2度目の椎葉村での奉職そして暮らし。一人で味わうにはもったいないと思いつつ、さすがにもうないだろうと、日々の生活を噛みしめながら送ることにしています。

ふるさと清武では、めったにお目にかかれないもの、いや絶対ないもの…というアンテナを張って見てみると、何気ないことから、たくさん愛おしさを感じることができます。「取り留めもない。」と思われるかもしれませんが、私はこれが大好きなのです。愛おしいと思うのです。ちょっとだけ思い付くまま、以下に書き出してみます。

① 登校後、わずか10分不足ですが、ほとんどの子ども達が運動場に出てきて、ジョギング、縄跳びなどで体を動かしている光景。私も小学生の頃、登校したらまず、ドッジボールでした。脳の活性化のために運動は不可欠ですから、机に座って勉強するばかりではダメだと思っています。

② ①において、学年や住んでいる地区、男女を問わずに、誰とでも自然に活動をともにすることができる子ども達。そして、そこでは、「高学年は下学年の面倒を見ること」、「下学年は高学年の言うことをきくこと」が暗黙の了解として受け継がれているようです。この「へだたりはないけれど、縦の一線は引くという関係」は、街なかではもはや崩壊していると言っても過言ではありません。分をわきまえることや礼儀といった節度ある行動・態度は、「おもてなし」や「絆」等とともに、国際社会で高い評価を受ける日本人の美徳ではないでしょうか。

③ 若干機械的（型にはまっている）ではありますが、学校では、進んで元気よくあいさつができる子ども達。これも街なかでは、「あいさつどころかブスとして不機嫌な子ども」や「あいさつしても目を合わせない、返事も小さい子ども」の多さが問題になっています。杉の子たちは、朝から比較的元気で笑顔も見られるので、気持ちが満たされている証拠だなどと思っています。朝6時台に家を出る子もいるのに、たいしたものです。

④ 休日に、運動場から聞こえてくる子ども達の明るい声。見ると、野球やサッカー、いろいろな遊びに興じています。飽きたり問題が生じたりしたら、別の遊びにすぐチェンジして改めて…という柔軟性も持ち合わせています。「晴れた日は運動場に行けば誰かがいて、一緒に遊べるはず。」という気持ちで集まってくるところが素敵ですね。街なかでは、校庭はおろか公園でも元気に遊ぶ子どもの姿はめったに見られなくなっています。

⑤ ④において、最高に心を和ませてくれる光景が、その中に親が交じって楽しそうに遊んでいるということ。行楽地に連れていくのではなく、子どもと一緒に無邪気に遊ぶことこそ、子どもが欲している真の愛情だと思います。「家にいたらTVやゲーム漬けになるから…」と、片道15kmオーバーの距離を自宅から徒歩でやってきた御家族もあります。学校に到着してから「遊びが始まる」わけですから、その気力・体力には本当に頭が下がります。

今年もありがとうございました。

紙面が僅かになりましたので、末筆ではありますが、最もお伝えしたい「御礼」を述べます。学校は頻繁に職員が入れ替わるため、勝手が分からなかったり、うまく引継ぎがなされなかったりして、行き届かない部分が多かったのではないかと思います。子ども第一を前提として、「地域あつての学校」「家庭とともに歩む学校」の実現に努めてきたつもりですが、地域や保護者の皆様の多大な御支援と御協力があってのものだと心より感謝致しております。愛おしい学校、そして、子ども達のために、次年度も伝統を受け継ぎつつ、活性化を目指した柔軟かつ斬新な取組にも挑戦してまいります。今後とも、本校並びに在校生、そして卒業生への温かい御声援と御支援をどうぞよろしくお願い致します。